



ピアニスト
佐伯牧里南 (さいきまりな)



アコーディオニスト
Julien Beutemps
ジュリアン・ポートン

フランス音楽界で注目を浴びる二人のソリストが共演

今治市出身 佐伯牧里南 Julien Beutemps

ピアノ×アコーディオン コンサート

5/7

2025
WED

主催 今治市

会場 今治市中央公民館4階大ホール (今治市南宝来町 1-6-1)

開場 18:00 開演 18:30

入場料 無料 (事前申込制) 定員 500名

申込受付開始 2025年4月21日(月) 12:00~

★申込は右記の「フォーム」または電話(0898-36-1608)で今治市文化振興課へ。

★電話受付は市役所開庁時間に限り、定員になり次第、受付を終了します。

★未就学児の入場はご遠慮ください。



申込はこちら



佐伯牧里南（さいきまりな） ピアニスト

愛媛県今治市出身。地元愛媛では、平野和恵氏、井角知子氏に師事。12歳より高野耀子氏（イタリアの巨匠ミケランジェリの弟子であり、日本人初の国際コンクール優勝者）に師事。同氏の勧めで中学校卒業後、15歳で渡仏。2014年パリ国立高等音楽院に入学。学士課程を首席、修士課程を満場一致の最優秀で卒業。また同音楽院で室内楽科の修士号も取得。さらに演奏家課程にも進み、2022年・2023年パリのリーヴ・ドロワット管弦楽団とクララ・シューマンのピアノ協奏曲を演奏。また、パリで野平一郎氏作曲〈ピアノとクラリネットのための「Si-Mi」〉の世界初演を務めるなど、在学中より積極的に演奏活動をスタートさせる。

現在、パリを拠点に、イタリア・スペイン・ドイツ・ベルギー・デンマーク・アメリカなど、フランス国内外で演奏活動を行っており、「エネルギーでありながら豊かな音色のパレットをもつピアニスト」と高く評価されている。ヴァル・ド・トラヴェール国際ピアノコンクール最高位の他、ヴィルチュオーズ・デュ・クールピアノコンクールなど数々のコンクールで受賞歴をもつ。ラ・ロック・ダンテロン国際ピアノ音楽祭、ラ・フォル・ジュルネ・ド・ナント、パリ・ショパンフェスティバル、ラ・フォル・ジュルネ東京など、数多くの音楽祭にソリストとして招待されている。またフランスラジオ放送局やスイス放送局にも定期的に招かれている。室内楽奏者としても、オーボエ奏者のダヴィッド・ワルター氏、サクソフォーン奏者のヴァンソン・ダヴィッド氏、ニコラ・アーセニアヴィッチ氏、チェリストのフランソワ・サルク氏など、名だたる演奏家と共演。またジュリアン・ポートン（アコーディオニスト・作曲家・編曲家）との共演も注目を浴びており、ラ・グランジュ・メレー音楽祭やラ・フォル・ジュルネ東京にも招待されている。

これまでにクリスチャン・イヴァルディ氏、クレール・デゼール氏、レナ・シレシエフスカヤ氏など、多くの世界的音楽家に師事。ロール・デュラン財団、メイヤー財団、カラッツ財団、フォンテーヌブロー・アメリカン芸術スクール、オルフェ・ミュージック、パリ・エコールノルマル、PTN Aジャパンから後援を受ける。2025年に初のソロアルバム『DOUBLE REFLET-2つの反影』を da Vinci publishing からリリース。

Julien Beautemps（ジュリアン・ポートン） アコーディオニスト

今フランス音楽界で大きな注目を浴びている若手アコーディオニスト、ジュリアン・ポートン。その超絶技巧と知性溢れる演奏が高く評価されている。

2023年フランスメディア賞受賞、ロール・デュラン財団、ポピュラー銀行より後援を受けている。また、ローレディア国際コンクール、カステルフィダルド国際コンクール、世界アコーディオンコンクールなど10を超える国際コンクールで優勝・受賞歴を持つ。モンペリエ・ラジオ・フランス音楽祭、ラ・フォル・ジュルネ・ド・ナント、ピアノスコープ音楽祭、ラ・ヴェゼール音楽祭、アラドン音楽祭、コルマル国際音楽祭など数多くのフェスティバルに招待されている。またフランスの他セルビアやイタリア、ベルギー、スイス、スペインでの演奏、またフランスラジオ放送局やスイスラジオ放送局にも定期的に招かれている。

パリ国立高等音楽院の演奏家課程、ローザンヌのマスターソリスト課程を同時に専攻。ゴチエ・カピュソンやフィリップ・ベルノルド、エレオノーラ・パンクラチ、ロマン・ルルー、フランソワ・サルク、アデル・シャルヴェなど名だたる演奏家と共演。2022年には初のソロアルバム『メカニクス』をニューゴ・レーベルからリリース。また「編曲の天才（フランスラジオ）」とも言われており、ガーシュイン作曲の〈ラブソディ・イン・ブルー〉やラヴェル作曲の〈ボレロ〉、モーツァルト作曲の〈魔笛〉をソティリス・アタナシウ（ギタリスト）とのデュオ「アルゴス」で演奏し大きな話題を呼んだ。作曲も行っており、〈メカニクス〉〈ヴァイオリンとアコーディオンのためのソナタ〉などが高く評価されている。

プログラム

——— パリの風を音楽に乗せて ———

- | | | |
|-----------|---------------------|---|
| デュオ | サン・サーンス〈動物の謝肉祭〉より抜粋 | |
| アコーディオンソロ | ムソルグスキー〈キエフの扉〉 | |
| ピアノソロ | ラヴェル〈水の戯れ〉 | 他 |

